一般社団法人
災害対策支援者協会
D-SSA（ディーサ）

ご案内パンフレット

2025年4月版

Company

こちらは、会社概要のページです。

一般社団法人災害対策支援者協会

スローガン

私たちは民間でありながら、大規模災害が発生した際にはすぐに災害現場に駆け付け、公助の行き届かない被災地域、被災者にすぐに寄り添える支援活動を行いたい、という無謀な想いから生まれました。
しかし前例が無い、無理、出来るわけないと言われ続けてきました。

令和6年正月に発生した能登半島地震では、行政の職員のほとんどが被災し、今まで計画、準備されていた災害対策・計画は崩れ、行政の行き届かない機能不全に陥った地域、避難所が多く発生しました。そのような際に、DMTC、DMTC-SAが推進している『災害対策士』は専門の教育プログラムを終了し、各種実技を習得した災害対策のプロフェッショナルであるので、機能不全を起こしそうな地域へ入る事が、行政、被災者にとって最適な支援となります。

私たちはDMTC、DMTC-SAの活動のお手伝いをすることが、今まで無理だと思われていた協会理念に近付き、しかも被災地域、被災者に寄り添える活動が可能になると考え邁進していきます。

会社プロフィール

会社名	一般社団法人災害対策支援者協会
所在地	和歌山県田辺市新庄町3353-9
	情報交流センター　ビッグ・ユー内
代表理事	吉田　克也
	（DMTC-SA　常務理事　兼任）
Web	https://www.d-ssa.com
E-mail	saigaisien.d-ssa@gmail.com
創設	令和6年11月

参加申込

HP

代表者挨拶

東京大学DMTCの災害教育プログラムと「災害対策士」能力認定制度による人材育成プログラムを色々な分野の方々の教育に活用し、災害対応力の強化を図る取り組みを応援するための組織として、当協会を設立いたしました。

【背景・理由】

1．南海トラフは「広域同時被災」のリスクが非常に高いため、公助だけでは不十分で共助が必要になる。
2．災害対策本部が混乱する原因は「全体像の共有ができていない」ことで、災害対策士は8分野47業務の全体像を理解し、専門性を身に着けた人材で共助の担い手として、各地の災害現場配置されるべきだと私たちは考えています。

DMTCの災害教育プログラムや災害対策士の育成を進めることが、災害発生時の損害縮小化に必ず繋がると私たちは真剣に考えています。そのための支援活動を積極的に推進するのが当協会としてのポリシーです。皆さんのご支援をよろしくお願いいたします。

TEAM D-SSA
一般社団法人災害対策支援者協会

Policy

こちらは、実績、方針、お願いのページです。

災害対策本部支援訓練

救護所設営訓練

災害対策士B級実技試験
（地域住民の方参加型
避難所運営訓練実技）

小中生対象避難所体験
訓練会（令和6年夏）

DMTC、DMTC-SAの活動支援

DMTC、DMTC-SA教育プログラム講習の開催支援、補助作業

DMTC災害対策各種教育プログラムでは、上記のような実技により習得するプログラムも行っていますが、各所からの必要性が増えたことにより準備、運営手伝い、補助、片付け等の支援が必要になってきました。私たちはDMTC、DMTC-SAの方針、取組みに共感し、受講生の方々と一緒に勉強しながら、スタッフ自身も災害現場で即戦力になることを目指す集団です。

TEAM D-SSA の必要性

混乱した被災地で、一刻も早い被災者支援活動を行うには『災害対策士』が早急に災害現場の対策本部や避難所に入ることが重要です。
しかし被災地までの道のりは土砂、寸断、悪路、冠水など悪条件が予測されます。
そのような状況下でも『災害対策士』を送り届ける、各分野に精通したスタッフでチームを結成して遂行します。
※一部道路啓かいを実施していきます

（想定基本チーム構成）

1．チーム責任者：必須
2．(行政職員等)
3．災害対策士：必須
4．ドローンパイロット
5．バイク、バギードライバー
6．土木関係重機オペレーター：必須
7．通信、電源、浄水などインフラ支援者
　上記を単一、複数精通しているスタッフ
　4名～5名で構成

※衛星通信、発電機、浄水器、小型建機その他必要資機材を携行します。

正会員・賛助会員・協賛・支援・提携・連携是非ご検討をお願いいたします

『被災者の一助に!!』
『地方公共団体の一助に!!』
今後起こるであろう広域の大災害に立ち向かうため、『災害対策士』を増やす取組み、またカリキュラム習得への支援活動を全国に向けて積極的に行っています。
そして『災害対策士』をいち早く災害現場に送り届ける、そこまで行うことが被災地域への重要なMissionだと考えています。

ただしこれらの活動を行っていくためには、多くの人のご支援、ご協力、ご援助が必要です。また共に行動してくれる仲間も必要です。　これを機会に是非、前向きなご協力をお願いいたします。

Products

こちらは、主要活動の紹介のページです。

『災害対策士』の増員支援
災害対策士試験支援

『災害対策士』は災害現場の最前線で、行政、被災住民より必要とされる業務を担うことが可能な、知識と技能を習得した者に与えられる『災害対策士』試験を通過した災害対策のプロフェッショナルです。
私たちはそのような『災害対策士』を生み出すための各種支援活動を行います。

『災害対策士』を被災地へ
先遣隊TEAM D-SSAを編成

大規模な災害が発生した場合、被災地域では行政職員なども被災することで被災対策業務が機能不全に陥ります。そのような地区に『災害対策士』を帯同した先遣隊（TEAM D-SSA）を編成して災害現場に入り、『災害対策士』が行政などの支援活動に参加できるように送り届ける任務を担います。

TEAM D-SSAの被災地活動
避難所支援、被災地情報収集等

私たちはTEAM D-SSAが災害対策士を被災地の必要箇所に送り届けた後、現地で次の活動を行います。

1．ドローンなどを使っての被災地域の被災状況調査
2．現場までの通行ルート、ルート状況報告書作成
3．上記情報を、衛星通信等を使い指定先へ配信
4．避難所運営支援活動を開始
5．被災者向通信確保、発電機、浄水器の設置等
6．不足物資調査、要介護者調査を配信

「自助」「共助」で早期復旧を支援する
建設機械操作安全講習開催

大規模災害発生時は自治体、行政による被災者支援は届きにくくなります。そこで「公助」に頼ることなく、自分たちの出来る範囲で地域の瓦礫除去、支障物撤去を行い本格復旧までの繋ぎ活動が必要になります。私たちは各地で小型建設機械の資格取得講習、操縦訓練会などを開催し、「自助」「共助」として住民、支援者が活動できる体制作りを行っていきます。